



国際ロータリー第2780地区 第6グループ

厚木中ロータリークラブ週報

2013-2014 第1740回 1月29日号

会長：中野正義 幹事：小島條太郎

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2F 例会場：レンブラントホテル厚木
TEL 046-222-5811 FAX 046-222-5821



卓話例会◆ロータリー理解推進◆

《 報 告 》

《 会 長 報 告 》

- ガバナー事務所 より
 - ・ インターアクト合同会議 開催のご案内
 - 日時 2014年2月15日 (土)
 - 13:00~13:45 委員会
 - 14:00~16:00 合同会議
 - 16:00~17:00 一泊研修実行委員会
- 場 所 かながわ女性センター 「会議室3」
- ・ 2月のロータリーレート 1ドル=102円
- 神奈川県立厚木商業高校 より
 - ・ 2014年全国高校選抜壮行会のご案内
- 平成26年3月16日(日)18時より 厚木商業高校 格技場
- ?公益社団法人 厚木青年会議所 より
 - ・ 賀詞交歓会 臨席御礼
- 特定非営利活動法人AMDA より
 - ・ スタディーツアーのご案内 が届いております。



藤川孝幸会員

あゆコロちゃん文庫の図書第2弾の報告。皆さんからのご芳志の残金は、次回用に繰り越しておきます。ご協力ありがとうございました。

《 幹 事 報 告 》

《 会 員 誕 生 》

- 例会変更 ・座間RC 1月29日(水) → 夜間例会
18:30点鐘 於:胡同
- 2月12日(水) → 2月9日(日) IM
オークラフロンティア 海老名
- ・ 綾瀬春日RC 2014年2月5日(水) → 移動例会
8日(土) 第4グループ合同例会・IMに振替
14時点鐘 於:寒川神社参集殿
- 2月12日(水) → 移動例会 会員親睦例会
- 週報 ・厚木RC・寒川RC が届いております。



山本道子会員 アラカン

《 ポールハリスフェロー 》

《 卓 話 》



左から原田孝一会員・佐野良人会員・加藤元英会員・中村昭夫会員・小島條太郎会員・齊藤達夫会員・中野会長



担当：建部 覚会員

2013年の規定審議会で手続き要覧の一部が改訂されました。電子版をダウンロードしてきました。掻い摘んで説明します。別紙資料あり。

《スマイル》

【中野会長・齊藤副会長・西村会長エレクト・小島幹事・笹生副幹事】…今日は1月最後の例会です。ロータリー理解推進卓話です。情報委員会建部会員よろしくお願ひいたします。

【和田吉二会員】…①先日、レイクウッドでの友の会コンパで、ハンデとパートナーに恵まれて優勝しましたのでスマイルします。山本さん、写真ありがとうございました。

②鈴木さん、先日はレイクウッドへの往復を鈴木さんの車に乗せていただき、大変お世話になりました。

【三平治憲会員・原田孝一会員】…建部さん、「卓話」大いに頑張ってください。

【城所敏之会員】今日は配偶者誕生日祝いとして、すばらしい花束を頂けるそうで誠にありがとうございます。

【中村昭夫会員・原田孝一会員・加藤元英会員】…ポールハリスフェローをいただきました。今後とも、この賞に恥じないよう、活動していきます。

【川添勝憲会員】…所用の為、早退させていただきます。

【内田清会員】…鈴木さん、先週のスマイルの発表、代わって頂きありがとうございました。

【山本道子会員】…ステキなバラの花束をありがとうございます。もう1年、目いっぱい仕事を頑張ります。

○○○○○○○○○○ 特別寄稿 ○○○○○○○○○○

ロータリーはどこに行くのか？

—2013年規定審議会立法案審議経過と結果報告を聞いて—

原田孝一会員

『古代ダマスカスに、有名な刀剣鍛冶の街があり、その一角に熟練工組合（ギルド）が居をかまえ、ダマスカスの名剣を鍛えていました。これらの剣は非常に鋭利であり、弾力性に富んでいました。劣悪な剣を作ったことが明らかになった組合員は誰でも皆、当時最大の恥辱的刑罰であった絞首刑に処されたのであります。その理由は、次のとおりです。「彼は鍛冶の足りない、焼きの悪い剣に、我々業者の最高の名誉と信用ある技工の証明たる銘を刻み、そしてその粗悪品を買った人を満足させ得なかったことによってダマスカスの刀剣ギルドの名匠全体の名をはずかした、ゆえに処刑された」—奉仕こそ我がつとめ「現代のギルド」パーシーホジソン（著）より抜粋—』

今回の表記報告を聞きながら、パーシーホジソンのこの話を思い出していた。古代ダマスカスのギルドと現代のロータリークラブを同じ組上に乗せて比較検討することはかなり乱暴な話ではあるが、最高の品質（名刀

を保つためには、相当厳格な規律（掟）が必要であり、厳格な規律や強力な自浄作用（処刑）があるからこそ、品質が担保されているのだ、という事を表しているのだと思う。

今回の規定審議会制定案を見てみると、13-08 入会金免除、13-12、13-22、13-28 出席規定要件緩和、13-23 出席免除要件緩和、13-28 出席率算出規定改正、13-32 衛星クラブ設置規定、等々、ロータリークラブの根幹に関わる基本的規律である入会規定（衛星クラブ含む）や出席義務について、かなり放漫な緩和がなされたと言わざるをえない。多分その背景には、会員数減少によるRIの危機感があるのかもしれない。

しかしながら、そもそもロータリークラブの生成の過程や発展の歴史を考えて見ると、ロータリークラブとは、その地域における全ての有益な職業の中で、一業種一人を原則とし、最も優れた代表が選ばれ、その代表者達によって組織されている団体であり、その特質性があるがゆえに、厳格な入会審査、出席義務等の規律が機能しているものと思われる。

ここ数年の規定審議会の改定案を眺めていると、Eクラブの制定やメキャップ期間の延長、一業種二人以上入会可能の改定等々、会員増強の名のもとに、ロータリーの特質性を失いかねない放漫な改定がなされている。

もし、これらの改定が会員減少をくいとめる手段として、実施されているとしたら、現在のロータリーは、大変大きな間違いを犯していると思わざるをえない。なぜならば、現在の会員減少の最大の原因は、とりもなおさず、ロータリークラブの魅力の欠如に他ならないと、私は考えるからである。

良質な職業人が集う組織であり、厳格な規律（入会審査、出席義務等）が機能しているからこそ、倫理観の高揚や奉仕活動の透明性が保証されるのではないだろうか。

今後もこのような改定が続く傾向があるとすると、会員増強の効果はもとより、ロータリークラブの魅力を失わせ、会員減少を惹起する、真逆の行為であると私は考える。一体ロータリーはどこに行こうとしているのだろうか？

たまたま見てしまった内閣府のホームページ。男女共同参画週間へのキャッチフレーズを募集していた。「男性がもっと家事・育児・介護・地域活動に関わりたくなるようなキャッチフレーズ～長時間労働を減らして、仕事を含めた「生活」に豊かさを～」と謳っている。内閣府のサイトには「紅一点じゃ、足りない」とジグソーパズル。偶然見た国際ロータリー第2660地区のサイト。ここにもジグソーパズルで「ロータリー活動の参加希望者」を募るもの。これってトレンドですか？トレンドとは時流のこと。一時流行じゃあしょうがないと思う。（や）

